

2020年の米づくりがスタートします！
 ◎ 品種や地域に応じた育苗計画を立てましょう。
 ◎ 5/15 植えを中心とした田植えをするためには、4/26 を中心とした播種をしましょう。
 ◎ 収量増・品質向上のため、初期茎数を確保できるように健苗を育てましょう。

1 健苗育成の目安

(1) 田植えまでの目安

品 種	種子消毒	浸 種	催 芽	播 種	搬出※	田植予定日	播種～田植
てんたかく	3/31	4/1	4/11	4/13	4/16	5/5	22日
中山間地域 コシヒカリ	4/6	4/7	4/17	4/19	4/22	5/10	21日
コシヒカリ	4/13	4/14	4/24	4/26	4/29	5/15	19日
	4/22	4/23	4/30	5/2	5/5	5/20	18日

※発芽苗の引取りは、搬出日が目安となります(5/15 田植なら 4/28 頃に発芽苗引取り)。

(2) 種子消毒 ～水温厳守で確実に効果を～

- ・テクリードCフロアブル 200 倍液に 24 時間浸漬し、消毒中は1～2回網袋を動かしましょう。
- ・**水温が低いと種子消毒の効果が半減するので、必ず 12～13℃程度を保ちましょう。**
- ・消毒後の残液は、河川等に流出しないよう適切に処理しましょう。

(3) 浸種 ～浸種 1 日目が重要、積算温度 100℃を目安に適切な管理を～

- ・浸種 1 日目(種子消毒含む)は、水温 12～13℃、その後も水温は 10～15℃を保ちましょう。
(10℃未満は積算温度に数えません。また、浸種後半は高水温で芽が伸びやすいので注意)。
- ・酸素供給のため、2 日に 1 回は水を入れ替え、また籾袋の上下も入れ替えましょう。

(4) 催芽 ～芽の長さをこまめにチェックを～

- ・育苗器を使う場合、袋には種籾をたくさん入れすぎず、上下段を入れ替え、袋を裏返すなどを行ってムラなく芽出しをしましょう。
- ・催芽温度は 30℃。ハト胸～芽長2mm 程度に揃えましょう。
(目標:はと胸状態 80%以上)
- ・籾が手につかない程度まで種籾の水切りをしましょう。



[最適な芽の長さ]

(5) 播種 ～播種量を確認し、厚まき防止を～

乾籾 120g の目安

乾 籾	芽出し籾の容量	水切り後重量
120g	200cc	150g

- ・播種時には、箱当たりダコレート水和剤 1,000 倍液を 1L 又はナエファインフロアブル 1,000 倍液を 0.5L かん注しましょう。
- ・エバーゴールド又はルーチンブライト箱粒剤は、播種時(覆土前)に散布量が 50g/箱になるよう調整しましょう。
(注意)水稲育苗後にハウス内で野菜を作付けする場合は、田植時ハウス外で苗箱施用剤を施用する。

[120g 播きの目安]

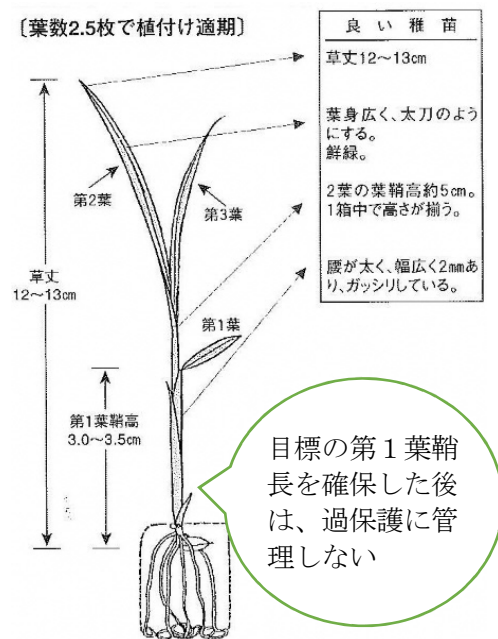


(6) 出 芽

- ・出芽の温度は 30℃。出芽長は 1cm を目安とし、出し過ぎに注意しましょう。
 - ・寒い日の育苗ハウスへの搬出は控えましょう。
 - ・搬出時はかん水をして覆土を落ち着かせ、水不足によるヤケに注意しましょう。
- (注意)日照がある日は十分にかん水しましょう。

(7) 育苗前半の管理(緑化期)

- ・白化苗を防ぐため、被覆資材を掛けましょう。苗が黄色～黄緑色になったら外しましょう。
- ・かん水は基本的には朝に行いますが、覆土が乾いたら適宜かん水しましょう。
- ・昼間、ハウス内の温度は 20～25℃を目安に管理し、25℃を超えるようなら換気しましょう。
- ・**第 1 葉鞘長が 3cm を確保したら、換気を徹底しましょう。**



2 「富富富」の管理

(1) 田植えまでの目安

刈取り目安	種子消毒	浸 種	催 芽	播 種	搬出※	田植予定日	播種～田植
コシヒカリ前	4/2	4/3	4/14	4/15	4/18	5/6	21 日
コシヒカリ後	4/15	4/16	4/26	4/27	4/30	5/15	18 日

- ・刈り取りの時期により播種時期、田植え時期を変えましょう。
- ・(注意)CEを利用される方は、5/6 から田植えを実施してください。

(2) 種子消毒

- ・化学農薬を使用しない場合
温湯処理(60℃・10分処理)後、一度冷却し、浸種を開始。浸種の最後の 24～48 時間を酸度 0.1% の食酢液で実施する。
- ・化学農薬を使用する場合
温湯+食酢処理ができない場合テクリードCフロアブルを使用しましょう(化学成分数は1です)。
使用方法は表ページ参照

(3) カビが心配又はカビが発生した場合

- ・カビが心配な方は、播種時にナエファインフロアブル 1,000 倍液を箱当たり 0.5L かん注しましょう(化学成分数は1です)。
- ・搬出後にカビの発生がみられたら、緑化期までナエファインフロアブル 2,000 倍液を箱当たり 1L かん注しましょう。

(4) 箱剤の使用

- ・病害虫の防除として、ルーチンブライト箱粒剤を播種時(覆土前)に 50g 施用しましょう(化学成分数は3です)。

(5) その他の管理

- ・その他の管理は、他の品種と同様です。

農薬を使用する場合、化学合成農薬の成分使用回数を合計で 12 成分以下となるよう考慮して散布してください。

3 ケイ酸質資材の散布

- ・秋に土づくり資材を施用できなかった圃場は、春の耕起前に必ず施用しましょう。

ケイ酸質資材の散布量の目安 (10a 当り)

施肥体系	資 材 名	ケイ酸分	標準施用量
分施	土力源	30%	100kg
一発	新スーパーエスアイ加里	23%	100kg

=== 今月の GAP: 農作業中の怪我等に備えて、傷害保険や労災保険へ加入しましょう!! ===